

# 2019年日本建築学会奨励賞 候補業績の応募・推薦

2019年日本建築学会奨励賞候補業績を下記の要領によって公募し、すぐれた業績を表彰いたします。

会員各位には、下記募集要領をご参照のうえ、期日までに、審査のために必要な資料および表彰に値する説明書を添付のうえ、ご応募またはご推薦方お願いいたします。

2018年8月  
一般社団法人 日本建築学会

## 募集要領

新進の研究者による、近年中に発表された独創性・先駆性・萌芽性・将来性のある建築に関する優れた論文等の業績を表彰いたします。

### 1. 候補者資格

審査対象業績の業績発表の時点で本会正会員(個人)かつ満40歳未満の者。ただし、この制度によってすでに賞を受けたことのある者、また過去に学会賞(論文)を受賞した者を除く。

### 2. 業績

2015年1月より2017年12月の間に発表された、建築に関する優れた論文等(日本建築学会[各系]論文集、技術報告集、JAABE、本会以外の刊行するImpact Factor付きの英文学術誌に掲載されたもの1編)であって、応募者に帰属する業績。ただし、筆頭著者に限り、一人1編とする。

### 3. 審査の対象

- |     |                      |
|-----|----------------------|
| (1) | 会員が応募したもの            |
| (2) | 会員が推薦したもの            |
| (3) | 支部が推薦したもの            |
| (4) | 研究機関・団体、および職場が推薦したもの |

### 4. 審査の資料

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | 候補応募申込書 1部(書式 <a href="http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2018/1709b.doc">http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2018/1709b.doc</a> ) |
| (2) | 候補論文 3部(コピーでもよい)  |
| (3) | 業績説明書 1部  |
| (4) | 審査の必要上さらに詳細な資料の提出を求めることがある。ただし、資料の作成費は本会には負担しない。  |

なお、他薦の場合は推薦理由書を添付のこと。

## 5. 業績説明書

業績説明書は、下記について1,500字以内(A4判1枚以内厳守)で候補者自身が説明したもの。

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | 当該研究分野や隣接分野の発展現況の概説  |
| (2) | 候補論文の位置付け、成果の意義などについて、例えば、次の観点のうちのいくつかを選定して、当該分野に貢献したと主張できることの説明 |
| a.  | 高い国際的水準の業績   |
| b.  | 新しい領域・方法・概念の開拓   |
| c.  | 豊かな独創性・先駆性・萌芽性・将来性   |
| d.  | 卓越した緻密さ・丹念さ・努力   |
| (3) | 連名の論文の場合は、応募者の果たした役割   |

## 6. 応募締切

2018年10月2日(火)17:00(必着)

## 7. 表彰

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | 論文の業績を対象とするが、賞を受ける者はその業績をあげた正会員(個人)とする。 |
| (2) | 賞は「日本建築学会奨励賞」と称する。                      |
| (3) | 「日本建築学会奨励賞」の表彰は、賞状・賞牌および賞金を贈る。          |
| (4) | 表彰は2019年度大会会場で行う。                       |

## 8. 審査方法

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | 審査は日本建築学会奨励賞選考委員会が行う。  |
| (2) | 日本建築学会奨励賞選考委員会において厳正な選考を行い、これに基づいて授賞論文を決定する。その際、分野を横断した論文、新しい領域、境界領域の論文についても十分に配慮する。 |

## 9. 審査資料の取扱い

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| (1) | 審査資料は、日本建築学会奨励賞 |
|-----|-----------------|

選考委員会宛に送付または持参する。

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| (2) | 審査のため提出した資料は返却しない。 |
|-----|--------------------|

## 2019年日本建築学会奨励賞選考委員会

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | 河合 直人(工学院大学教授)   |
| 幹事  | 青井 哲人(明治大学教授)<br>松島 信一(京都大学教授)   |
| 委員  | 秋田 典子(千葉大学准教授)<br>飯塚 悟(名古屋大学准教授)<br>居駒 知樹(日本大学教授)<br>今本 啓一(東京理科大学教授)<br>大家 亮子(成城大学教授)<br>岡崎太一郎(北海道大学教授)<br>小椋 大輔(京都大学教授)<br>加藤 耕一(東京大学教授)<br>斎尾 直子(東京工業大学准教授)<br>佐藤 智美(清水建設技術研究所リサーチフェロー)<br>志手 一哉(芝浦工業大学教授)<br>清家 剛(東京大学准教授)<br>高田 豊文(滋賀県立大学教授)<br>辻村 壮平(茨城大学講師)<br>西村康志郎(東京工業大学准教授)<br>日色 真帆(東洋大学教授)<br>三木 保弘(国土技術政策総合研究所室長)<br>宮川 智子(和歌山大学准教授)<br>村山 顕人(東京大学准教授)<br>森山 修治(日本大学教授)<br>湯浅 昇(日本大学教授) |